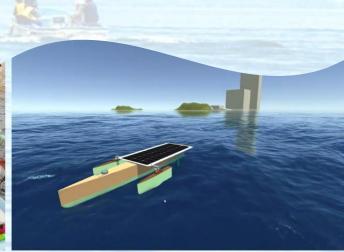
# E/SASV Games 公式ガイドブック



2024.08.17-18 Lake BIWA









# 波を切って、未来へ繋げ!

# 琵琶湖の水上ロボコン E/SASV Games

E/SASV Gamesは自律型走行ロボットを琵琶湖に走らせ、走行精度と時間を競う 大会です。また、環境問題・エネルギー問題について考え、自分たちのアイデアを 披露する場です。そのため、ロボットの動力源は太陽光に限定しています。

学生から社会人まで、自ら考えロボットを制作することによって、ロボット技術の発展に貢献することができます。チームで協力しながら問題解決する力、プログラミング、ものづくり、現代社会を生きるジュニア世代に身に着けてほしい力が多く盛り込まれています。

まさに、STEAM教育の実践として最適です。ぜひ、チャレンジしてください!

# ソーラーボートが未来を拓く

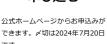
ソーラーボートは、太陽光のみを動力源として動く船のことであり、自律航行させることによって、新たな輸送手段として注目されています。太陽光さえあれば動くことから、災害発生時の運用も検討しています。しかし、天候に大きく左右されるため、本大会が始まった27年前では社会実装が困難とされてきました。近年では、燃料電池や波動発電など新たな技術の

日本ではソーラーボートを開発している ベンチャー企業も立ち上がり、社会実装 に向けた実験も行われています。

開発により、社会実装の可能性が高まりました。

### E/SASV Games参加の手順







設計方法や、推進力の計算方法な ど、公式ホームページで紹介して



.....

レギュレーション(競技規定)に 注意しながら製作してください。



### 募集要項

1. 大会名 第2回E/SASV Games

2. 大会運営組織 認定特定非営利活動法人びわ湖トラスト E/SASV Games実行委員会

3. 参加対象者 制限なし

4. 大会参加費 一般・大学:30,000円 中学・高校:無料

※伴走船乗船費用(1,000円/名・日)が別途必要です。

5. 募集期日 2024年7月10日 〆切

6. 日程 2024年8月17日, 18日

7. 場所 滋賀県高島市マキノサニービーチ

8. 受付 受付開始時刻 08:30 受付終了時刻 09:00

ホームページの応募フォームより奮ってご応募ください!!

さらに詳しい募集要項は HPにて公開中!!



申込もこちらから

### ロボット紹介



名前:ばな衛門 形式:トリマラン

重量:5.3kg(内部機構含む)

全長:1.7m

発電量:200W(200W×1)

基本スクリュー回転数:450rpm (無負荷)

使用モーター:マクソン148866 平均速度(概算):6ノット 戦績:2022年度大会1位

### 昨年度の大会

昨年度は予選に仮想空間でのレース、本選に 琵琶湖上でのレースを行いました! 初の試みでしたが、若年層や世界中からの参 加が増加しました。今年度は琵琶湖での本選 後に仮想空間上でのレースを予定中です。そ れに伴い技術ボランティアも募集しておりま す!もちろん3Dモデルとかわからないけど 勉強してみたい!という人もお待ちしており ます。

ともに技術を学んで自分のものにしましょう!!

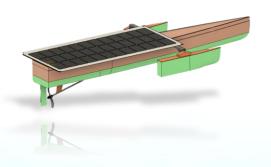




1997 年に、私たちはクルーレスソーラーボート大会を琵琶湖で立ち上げました。これは、無人 のソーラーボートが GPS とコンパスの情報のみを頼り に走行時間を競う、当時としては野心的な 試みでした。あれから26年、私たちは次の一歩を踏み出そうとしています。実現させるためには、 多くの協力者が必要です。それは複雑なソフトとハードの開発と、それらを支える資金の調達です。 琵琶湖で競う自律型走行ロボット の競技で得られる資産は、やがては大深海の探索にも、そして大 宇宙の探検 にも役立つことでしょう。こうして仮想と現実の垣根を取り除く努力の結果が、私たち から未来の人々への贈り物になるのです。

さあ、漕ぎ出しましょう、仮想の湖へ

さあ、競い合いましょう、豊かな琵琶湖で



管理者 熊谷道夫 (びわ湖トラスト/立命館大学)







この活動は一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けて 実施しています。



#### 主催・お問い合わせ

認定特定非営利活動法人びわ湖トラスト E/SASV Games実行委員会

メール: info@e-sasv.com (尾上)

TEL: 077-522-7255 FAX: 077-572-7265

住所 : 滋賀県大津市浜大津5-1-1 2F

事務局: 丹羽・多和田

